

2017年7月6日

### AGC旭硝子が導光板用ガラスXCV™の大量生産を開始

#### － 世界最高水準※<sup>1</sup>の光透過性能で大画面テレビをよりスタイリッシュに －

AGC 旭硝子（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は 2015 年に発売したテレビ向け導光板用ガラス、X C V™（エクシーブ）を改良し、世界最高水準※<sup>1</sup>の光透過性能を実現しました。併せて、大面積ガラスの効率的生産に適したフロート法による大量生産を本年 8 月より開始します。液晶パネルメーカー最大手の LG Display を初めとするお客様への供給を通じて、大画面テレビのスタイリッシュ化に貢献していきます。



近年、スタイリッシュな部屋にマッチする大画面フレームレス・テレビで「部屋にとけ込む鮮やかな映像を絵画や風景のように楽しみたい」というニーズが増えています。大画面でありながらフレームレス構造を実現する剛性と、高輝度画面にも対応可能な耐熱性を兼ね備えた厚さ 1.8mm のガラス導光板 X C V™ を従来の樹脂製導光板に代えて使用することで、テレビはスタイリッシュな部屋に映える存在に生まれ変わります。

AGC 旭硝子は、導光板用ガラスの世界 No.1 メーカーとして※<sup>2</sup> これからもテレビの進化に貢献していきます。

以上

※1 当社調べ。 ※2 導光板用ガラスのシェアによる。当社調べ。

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 旭硝子 経営企画部 広報・IR 室長 玉城 和美

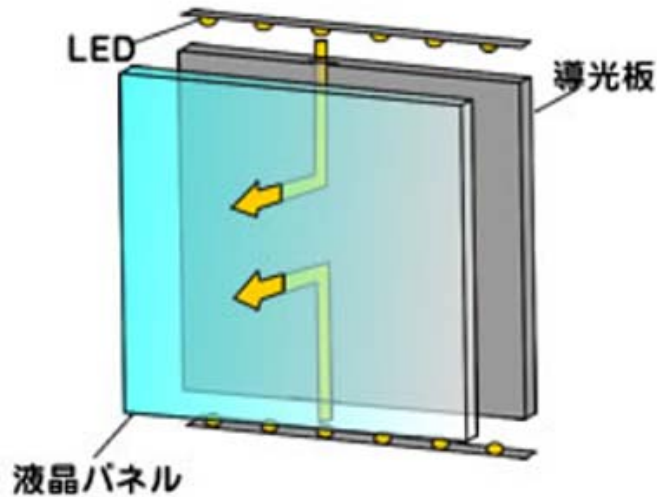
（担当：宮川 TEL: 03-3218-5603 E-mail: [info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com)）

<ご参考>

### 導光板について

液晶表示装置（LCD）は自ら光を発する事ができないので、別途光源が必要となります。従来からテレビには直下型が用いられてきましたが、近年はより薄くスタイリッシュな、デザインの自由度の高い、エッジライト型へのニーズが高まっています。エッジライト型では、ディスプレイ全体を均一に照らす為に「導光板」が使用されます。

### ■エッジライト型



出典：<http://www.phileweb.com/review/closeup/aquos-s/gasitu.html>

### ■ガラス製導光板の特徴（樹脂との比較）

- |               |              |
|---------------|--------------|
| ● 剛性が高い       | 約 20 倍以上     |
| ● 熱による変形が少ない  | 約 1/8        |
| ● 湿度による膨張が少ない | 約 1/100（推定値） |

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 旭硝子 経営企画部 広報・IR 室長 玉城 和美

（担当：宮川 TEL: 03-3218-5603 E-mail: [info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com)）